



# 校長通信

No. 7 令和2年5月29日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

首都圏や北海道に継続して出されていた緊急事態が5月25日、解除されました。これで、日本全国すべての都道府県で、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言が全面解除されたこととなります。これから経済活動や教育活動が、少しずつ動き始めていくでしょう。しかしながら、コロナは完全に消滅したわけではなく、また、効果的なワクチンも開発されたわけでもないので、まだまだ気を許すことができません。拡散防止に継続して努めてまいります。

## 《情報モラルについて》

5月25日の週は、登校日が3日あります。その中の活動の一環として、情報モラルについて学習します。2年生は、すでに25日に、3年生は27日に実施しました。1年生は29日に行います。

SNS等、たいへん便利ですが、使い方を間違えると人を傷つけたり、嫌な思いをさせたり、また、見知らぬ人とトラブルになったりする可能性もあります。そのような危険性を学び、正しくインターネット等、情報機器を使うための学習です。

授業では、2年生、3年生とも、とても真剣に学習していました。各ご家庭でも、どのような学習をしたのか、尋ねたりしながら、情報モラルについて話し合ってみてください。

## 《地元企業から御寄贈いただきました》

南都銀行で、企業が地元の学校を支援する事業があるそうです。その事業の一環で、株式会社吉建（和歌山市湊）から、河北中学校に電動アシスト自転車を寄贈していただきました。5月19日（火）、校長室において寄贈式が行われました。吉建様から、代表取締役社長、須磨徳裕様、総務部次長、大塚 学様、南都銀行様から和歌山支店長様及び事業担当の方が出席されました。



須磨社長様から目録をいただいた後、学校からは感謝状を贈呈しました。もうすでに、電動アシスト自転車は、家庭訪問や校区の巡視に使わせてもらっています。中学校は、校区が広いですが、電動のアシストは脚に負担にならず、たいへん重宝しています。

寄贈式の後、懇談で須磨社長様は河北中学校のご出身で野球部であったこと、その後、高校、大学でも野球部でご活躍されたことなど、話題になりました。中学校時代では、軟式野球紀北大会で優勝されたそうです。立派な先輩が母校、河北中学校を応援してくれています。

株式会社吉建様、南都銀行様、本当にありがとうございました。大切に使用させていただきます。

